

## 研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学放射線医学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2024年 8月

福島県立医科大学医学部放射線医学講座 伊藤 浩

### ■ 研究課題名

---

椎体レベルごとの脊髄静脈叢発達の差異について：3D 造影 MRI を用いた解明

### ■ 研究期間

---

2024年8月 ～ 2028年12月

### ■ 研究の目的・意義

---

背骨（脊椎）には脊髄という太い神経やその先端の細い神経（馬尾）が走行する管（脊柱管）があります。脊柱管内には網目のような静脈（脊椎静脈叢）が発達しています。この静脈叢は腹圧負荷などの呼吸によってサイズが変化し、脊髄・馬尾の圧迫や脳脊髄液の動きと関連している可能性があります。

脊柱管を持つ脊椎は頸椎・胸椎・腰椎と分かれ、各領域で静脈叢の発達の差がありますが、現在のところ部位ごとの静脈叢の発達についての詳細な検討は行われていません。これを明らかにすることで、腹圧負荷による腰痛や静脈叢を介した骨転移の病態理解の一助になることが想定されます。

### ■ 研究対象となる方

---

2020年1月から2024年7月までに全脊椎の造影MRIが撮像された患者さんの中で3D-MRI※という撮像方法でMRIが撮像された患者さん、かつ撮像時に18歳以上であった患者さんが対象です。

※3D-MRIは短時間で広範囲を撮像する方法で、全脊椎造影MRIを受けた患者さんの中で検査時間が比較的短時間であった患者さん(概ね30分程度)では3D-MRIで撮像されている可能性が高いです。なお、3D-MRIで撮像するかは検査時の患者さんの状況や検査時間の枠によって決ま

ります。

## ■ 研究の方法

---

後ろ向きの研究になるため、新たなデータ取得はありません。既に撮像された脊椎造影MRIに対して、多断面再構成を行い、脊柱管のサイズと脊柱管内で造影効果が見られる領域（静脈叢）のサイズを計測します。これによって、静脈叢が脊柱管内でどれだけの割合を占めているかを測定します。頸椎・胸椎・腰椎で静脈叢の発達程度が異なるかどうか、統計学的に検討します。

## ■ 試料・情報の利用を開始する予定日

---

2024年9月1日

## ■ 研究組織

---

この研究の研究事務局は福島県立医科大学放射線医学講座であり、研究責任者は放射線医学講座 教授 伊藤 浩です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一 であり、それらの情報は福島県立医科大学放射線医学講座で利用し解析を行います。

## ■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

---

他の研究機関への情報提供はありません。

## ■ この研究に関する問い合わせ

---

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに情報の利用はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

### 問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

2024年6月6日作成（第1版）

公立大学法人福島県立医科大学医学部放射線医学講座 担当：山國 遼

電話:024-547-1334 FAX: 024-547-3789

e-mail : rad@fmu.ac.jp